

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース

日本円コース

通貨αコース

運用報告書 (全体版)

第89期 (決算日 2022年5月20日)

第90期 (決算日 2022年6月20日)

第91期 (決算日 2022年7月20日)

第92期 (決算日 2022年8月22日)

第93期 (決算日 2022年9月20日)

第94期 (決算日 2022年10月20日)

(作成対象期間 2022年4月21日～2022年10月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2014年10月21日～2024年10月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
65期末(2020年5月20日)	3,091	30	17.0	4,339	27.0	—	98.0	1,412
66期末(2020年6月22日)	3,083	30	0.7	4,541	4.6	—	98.0	1,411
67期末(2020年7月20日)	2,830	30	△ 7.2	3,999	△ 11.9	—	98.0	1,281
68期末(2020年8月20日)	2,850	30	1.8	4,174	4.4	—	97.9	1,279
69期末(2020年9月23日)	2,553	30	△ 9.4	3,528	△ 15.5	—	98.1	1,139
70期末(2020年10月20日)	2,508	30	△ 0.6	3,669	4.0	—	97.9	1,100
71期末(2020年11月20日)	2,762	30	11.3	4,384	19.5	—	98.2	1,198
72期末(2020年12月21日)	2,821	30	3.2	4,671	6.5	—	98.3	1,187
73期末(2021年1月20日)	2,996	30	7.3	5,111	9.4	—	98.1	1,240
74期末(2021年2月22日)	2,963	30	△ 0.1	5,111	0.0	—	98.2	1,210
75期末(2021年3月22日)	3,210	30	9.3	5,770	12.9	—	98.1	1,237
76期末(2021年4月20日)	3,283	30	3.2	5,858	1.5	—	98.2	1,254
77期末(2021年5月20日)	3,568	30	9.6	6,517	11.2	—	98.9	1,353
78期末(2021年6月21日)	3,716	30	5.0	6,959	6.8	—	97.9	1,399
79期末(2021年7月20日)	3,384	30	△ 8.1	6,200	△ 10.9	—	97.8	1,268
80期末(2021年8月20日)	3,347	30	△ 0.2	6,147	△ 0.9	—	98.0	1,195
81期末(2021年9月21日)	3,458	30	4.2	6,200	0.9	—	98.1	1,224
82期末(2021年10月20日)	3,999	30	16.5	7,548	21.7	—	98.2	1,390
83期末(2021年11月22日)	3,718	10	△ 6.8	6,922	△ 8.3	—	97.4	1,336
84期末(2021年12月20日)	3,518	10	△ 5.1	6,532	△ 5.6	—	98.0	1,240
85期末(2022年1月20日)	3,904	10	11.3	7,565	15.8	—	97.4	1,358
86期末(2022年2月21日)	4,010	10	3.0	7,830	3.5	—	98.1	1,347
87期末(2022年3月22日)	4,296	10	7.4	8,331	6.4	—	98.9	1,438
88期末(2022年4月20日)	5,072	10	18.3	9,795	17.6	—	95.2	1,708
89期末(2022年5月20日)	4,707	10	△ 7.0	9,237	△ 5.7	—	97.8	1,527
90期末(2022年6月20日)	4,458	10	△ 5.1	8,826	△ 4.5	—	97.7	1,306
91期末(2022年7月20日)	4,863	10	9.3	9,710	10.0	—	98.8	1,415
92期末(2022年8月22日)	5,327	10	9.7	10,704	10.2	—	97.3	1,561
93期末(2022年9月20日)	5,412	10	1.8	11,119	3.9	—	98.2	1,577
94期末(2022年10月20日)	5,565	10	3.0	11,616	4.5	—	98.0	1,612

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

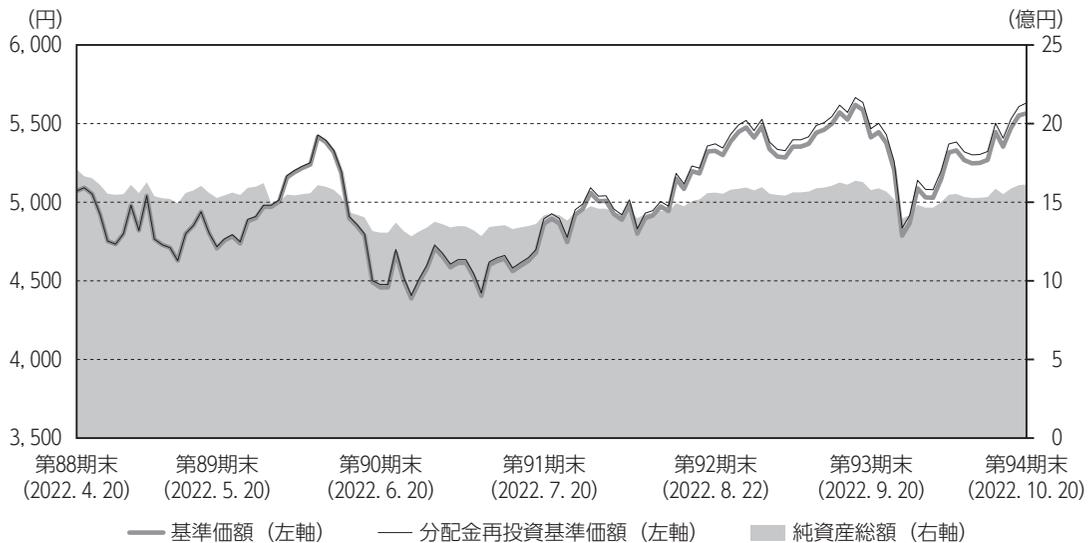
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第89期首：5,072円

第94期末：5,565円（既払分配金60円）

騰落率：11.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

保有するMLP（※）等のパフォーマンスが低迷したことはマイナス要因になりましたが、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第89期	(期首)2022年4月20日	5,072	—	9,795	—	—	95.2
	4月末	4,799	△ 5.4	9,229	△ 5.8	—	97.9
	(期末)2022年5月20日	4,717	△ 7.0	9,237	△ 5.7	—	97.8
第90期	(期首)2022年5月20日	4,707	—	9,237	—	—	97.8
	5月末	4,970	5.6	9,909	7.3	—	98.2
	(期末)2022年6月20日	4,468	△ 5.1	8,826	△ 4.5	—	97.7
第91期	(期首)2022年6月20日	4,458	—	8,826	—	—	97.7
	6月末	4,655	4.4	9,117	3.3	—	98.2
	(期末)2022年7月20日	4,873	9.3	9,710	10.0	—	98.8
第92期	(期首)2022年7月20日	4,863	—	9,710	—	—	98.8
	7月末	5,006	2.9	10,030	3.3	—	98.9
	(期末)2022年8月22日	5,337	9.7	10,704	10.2	—	97.3
第93期	(期首)2022年8月22日	5,327	—	10,704	—	—	97.3
	8月末	5,338	0.2	10,798	0.9	—	98.0
	(期末)2022年9月20日	5,422	1.8	11,119	3.9	—	98.2
第94期	(期首)2022年9月20日	5,412	—	11,119	—	—	98.2
	9月末	5,030	△ 7.1	10,346	△ 7.0	—	98.1
	(期末)2022年10月20日	5,575	3.0	11,616	4.5	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

MLP市況MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年6月末にかけて、インフレ率の予想以上の上昇を受けてFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、下落しました。7月以降は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで8月にかけて上昇しましたが、FRB高官の金融引き締めに関する積極的な発言を受け、9月末にかけてMLP市場は再び下落しました。その後、当作成期末にかけては一進一退の推移となりました。

為替相場米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2022年6月には米国で大幅な利上げが行われたことなどから、上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となりました。8月は、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまり、円安米ドル高基調のまま当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

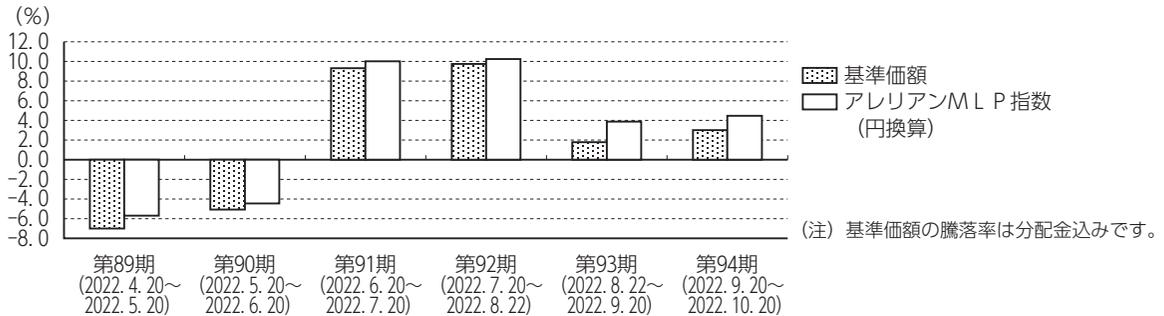
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2022年4月21日 ～2022年5月20日	2022年5月21日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月20日	2022年7月21日 ～2022年8月22日	2022年8月23日 ～2022年9月20日	2022年9月21日 ～2022年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.21	0.22	0.21	0.19	0.18	0.18
当期の収益 (円)	1	0	6	6	6	6
当期の収益以外 (円)	8	9	3	3	3	3
翌期繰越分配対象額 (円)	411	401	398	395	391	387

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 1.40円	✓ 0.88円	✓ 6.57円	✓ 6.52円	✓ 6.19円	✓ 6.38円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	299.01	299.77	299.91	301.23	301.68	301.78
(d) 分配準備積立金	✓ 120.65	✓ 111.31	✓ 102.06	✓ 97.34	✓ 93.41	✓ 89.51
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	421.07	411.97	408.54	405.09	401.29	397.68
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	411.07	401.97	398.54	395.09	391.29	387.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめどに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第89期～第94期 (2022. 4. 21～2022. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	32円	0.646%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,016円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.649	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

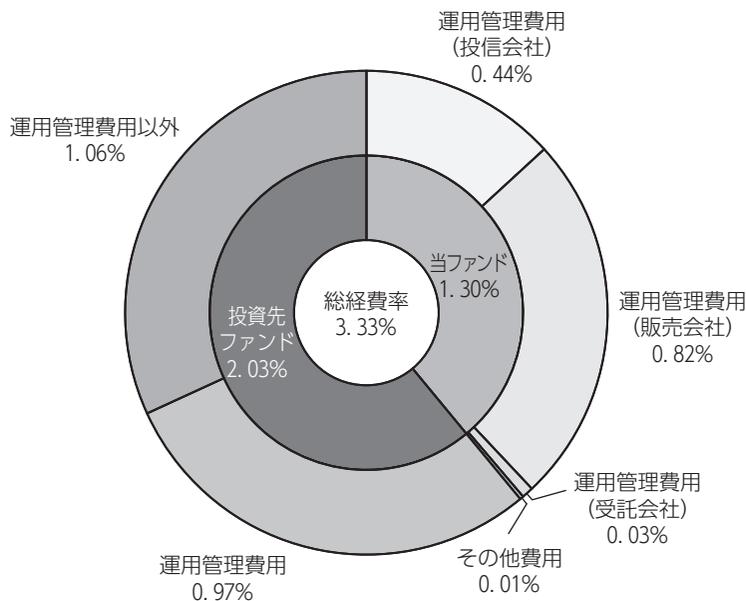
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.33%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.33%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.97%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

決算期	第 89 期 ～ 第 94 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 225.9412	千円 11,829	千口 4,112.08869	千円 214,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

第 89 期 ～				第 94 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 4,112.08869	千円 214,000	円 52

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 94 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	千口 27,149.99934	千円 1,580,618	% 98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 94 期 末		
	第88期末 □ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月20日現在

項 目	第 94 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,580,618	% 97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	37,308	2.3
投資信託財産総額	1,617,936	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月20日)、(2022年6月20日)、(2022年7月20日)、(2022年8月22日)、(2022年9月20日)、(2022年10月20日)現在

項目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
(A) 資産	1,533,659,381円	1,311,654,822円	1,421,766,791円	1,567,453,183円	1,582,967,333円	1,634,936,772円
コール・ローン等	40,325,026	34,674,899	22,248,570	48,274,079	34,309,075	20,308,133
投資信託受益証券（評価額）	1,493,324,376	1,276,969,944	1,399,508,242	1,519,169,125	1,548,648,280	1,580,618,662
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,979	9,979	9,979	9,979	9,978	9,978
未収入金	—	—	—	—	—	33,999,999
(B) 負債	6,390,070	4,681,516	5,790,383	6,211,207	5,703,270	22,597,859
未払金	—	—	—	—	—	17,000,000
未払収益分配金	3,244,475	2,931,931	2,912,024	2,930,861	2,914,470	2,897,030
未払解約金	1,458,429	56,338	1,431,031	1,543,186	1,107,909	1,012,387
未払信託報酬	1,676,480	1,671,902	1,416,960	1,695,986	1,629,328	1,626,510
その他未払費用	10,686	21,345	30,368	41,174	51,563	61,932
(C) 純資産総額（A－B）	1,527,269,311	1,306,973,306	1,415,976,408	1,561,241,976	1,577,264,063	1,612,338,913
元本	3,244,475,308	2,931,931,932	2,912,024,286	2,930,861,464	2,914,470,054	2,897,030,297
次期繰越損益金	△ 1,717,205,997	△ 1,624,958,626	△ 1,496,047,878	△ 1,369,619,488	△ 1,337,205,991	△ 1,284,691,384
(D) 受益権総口数	3,244,475,308口	2,931,931,932口	2,912,024,286口	2,930,861,464口	2,914,470,054口	2,897,030,297口
1万口当り基準価額（C/D）	4,707円	4,458円	4,863円	5,327円	5,412円	5,565円

* 当作成期首における元本額は3,368,308,600円、当作成期間（第89期～第94期）中における追加設定元本額は111,179,167円、同解約元本額は582,457,470円です。

* 第94期末の計算口数当りの純資産額は5,565円です。

* 第94期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,284,691,384円です。

■損益の状況

第89期 自 2022年4月21日 至 2022年5月20日 第91期 自 2022年6月21日 至 2022年7月20日 第93期 自 2022年8月23日 至 2022年9月20日
 第90期 自 2022年5月21日 至 2022年6月20日 第92期 自 2022年7月21日 至 2022年8月22日 第94期 自 2022年9月21日 至 2022年10月20日

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(A) 配当等収益	2,142,541円	1,943,284円	1,935,812円	1,936,796円	1,913,939円	1,914,406円
受取配当金	2,142,953	1,944,093	1,936,292	1,936,976	1,915,095	1,915,614
受取利息	1	16	3	—	—	—
支払利息	△ 413	△ 825	△ 483	△ 180	△ 1,156	△ 1,208
(B) 有価証券売買損益	△ 114,244,475	△ 70,689,761	120,270,436	137,556,747	27,366,466	47,132,387
売買益	1,690,233	9,677,504	120,599,705	137,746,349	27,575,865	47,190,203
売買損	△ 115,934,708	△ 80,367,265	△ 329,269	△ 189,602	△ 209,399	△ 57,816
(C) 信託報酬等	△ 1,687,166	△ 1,682,561	△ 1,425,983	△ 1,706,792	△ 1,639,717	△ 1,636,879
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 113,789,100	△ 70,429,038	120,780,265	137,786,751	27,640,688	47,409,914
(E) 前期繰越損益金	△ 891,864,994	△ 905,618,274	△ 970,998,767	△ 847,399,998	△ 705,112,642	△ 675,609,557
(F) 追加信託差損益金	△ 708,307,428	△ 645,979,383	△ 642,917,352	△ 657,075,380	△ 656,819,567	△ 653,594,711
(配当等相当額)	(97,013,853)	(87,890,730)	(87,334,932)	(88,286,902)	(87,926,379)	(87,427,391)
(売買損益相当額)	(△ 805,321,281)	(△ 733,870,113)	(△ 730,252,284)	(△ 745,362,282)	(△ 744,745,946)	(△ 741,022,102)
(G) 合計（D+E+F）	△ 1,713,961,522	△ 1,622,026,695	△ 1,493,135,854	△ 1,366,688,627	△ 1,334,291,521	△ 1,281,794,354
(H) 収益分配金	△ 3,244,475	△ 2,931,931	△ 2,912,024	△ 2,930,861	△ 2,914,470	△ 2,897,030
次期繰越損益金（G+H）	△ 1,717,205,997	△ 1,624,958,626	△ 1,496,047,878	△ 1,369,619,488	△ 1,337,205,991	△ 1,284,691,384
追加信託差損益金	△ 708,307,428	△ 645,979,383	△ 642,917,352	△ 657,075,380	△ 656,819,567	△ 653,594,711
(配当等相当額)	(97,013,853)	(87,890,730)	(87,334,932)	(88,286,902)	(87,926,379)	(87,427,391)
(売買損益相当額)	(△ 805,321,281)	(△ 733,870,113)	(△ 730,252,284)	(△ 745,362,282)	(△ 744,745,946)	(△ 741,022,102)
分配準備積立金	36,358,245	29,965,067	28,722,052	27,511,335	26,116,638	24,886,815
繰越損益金	△ 1,045,256,814	△ 1,008,944,310	△ 881,852,578	△ 740,055,443	△ 706,503,062	△ 655,983,488

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	455,375円	260,723円	1,913,281円	1,913,072円	1,806,702円	1,850,568円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	97,013,853	87,890,730	87,334,932	88,286,902	87,926,379	87,427,391
(d) 分配準備積立金	39,147,345	32,636,275	29,720,795	28,529,124	27,224,406	25,933,277
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	136,616,573	120,787,728	118,969,008	118,729,098	116,957,487	115,211,236
(f) 分配金	3,244,475	2,931,931	2,912,024	2,930,861	2,914,470	2,897,030
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	133,372,098	117,855,797	116,056,984	115,798,237	114,043,017	112,314,206
(h) 受益権総口数	3,244,475,308□	2,931,931,932□	2,912,024,286□	2,930,861,464□	2,914,470,054□	2,897,030,297□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
65期末(2020年5月20日)	2,729	30	16.6	4,294	26.9	—	98.1	361
66期末(2020年6月22日)	2,740	30	1.5	4,544	5.8	—	97.9	362
67期末(2020年7月20日)	2,507	30	△ 7.4	3,975	△ 12.5	—	97.8	328
68期末(2020年8月20日)	2,557	30	3.2	4,204	5.8	—	97.8	333
69期末(2020年9月23日)	2,316	30	△ 8.3	3,586	△ 14.7	—	98.1	304
70期末(2020年10月20日)	2,247	30	△ 1.7	3,713	3.5	—	98.0	291
71期末(2020年11月20日)	2,508	30	13.0	4,510	21.5	—	98.3	309
72期末(2020年12月21日)	2,570	30	3.7	4,827	7.0	—	97.9	316
73期末(2021年1月20日)	2,713	30	6.7	5,255	8.9	—	98.1	313
74期末(2021年2月22日)	2,636	30	△ 1.7	5,177	△ 1.5	—	97.9	303
75期末(2021年3月22日)	2,770	30	6.2	5,661	9.4	—	97.9	317
76期末(2021年4月20日)	2,847	30	3.9	5,785	2.2	—	98.0	325
77期末(2021年5月20日)	3,072	30	9.0	6,374	10.2	—	96.7	319
78期末(2021年6月21日)	3,142	30	3.3	6,745	5.8	—	98.8	323
79期末(2021年7月20日)	2,881	30	△ 7.4	6,046	△ 10.4	—	97.9	297
80期末(2021年8月20日)	2,833	30	△ 0.6	5,977	△ 1.1	—	97.0	254
81期末(2021年9月21日)	2,914	30	3.9	6,046	1.2	—	97.9	256
82期末(2021年10月20日)	3,242	30	12.3	7,032	16.3	—	98.0	285
83期末(2021年11月22日)	3,020	10	△ 6.5	6,482	△ 7.8	—	98.2	261
84期末(2021年12月20日)	2,863	10	△ 4.9	6,143	△ 5.2	—	98.2	248
85期末(2022年1月20日)	3,153	10	10.5	7,071	15.1	—	99.0	264
86期末(2022年2月21日)	3,214	10	2.3	7,271	2.8	—	98.2	266
87期末(2022年3月22日)	3,322	10	3.7	7,416	2.0	—	97.9	277
88期末(2022年4月20日)	3,633	10	9.7	8,086	9.0	—	97.9	288
89期末(2022年5月20日)	3,410	10	△ 5.9	7,720	△ 4.5	—	98.6	277
90期末(2022年6月20日)	3,042	10	△ 10.5	6,972	△ 9.7	—	97.7	246
91期末(2022年7月20日)	3,249	10	7.1	7,509	7.7	—	98.2	263
92期末(2022年8月22日)	3,568	10	10.1	8,338	11.0	—	98.1	269
93期末(2022年9月20日)	3,470	10	△ 2.5	8,292	△ 0.6	—	96.8	266
94期末(2022年10月20日)	3,390	10	△ 2.0	8,275	△ 0.2	—	97.1	260

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

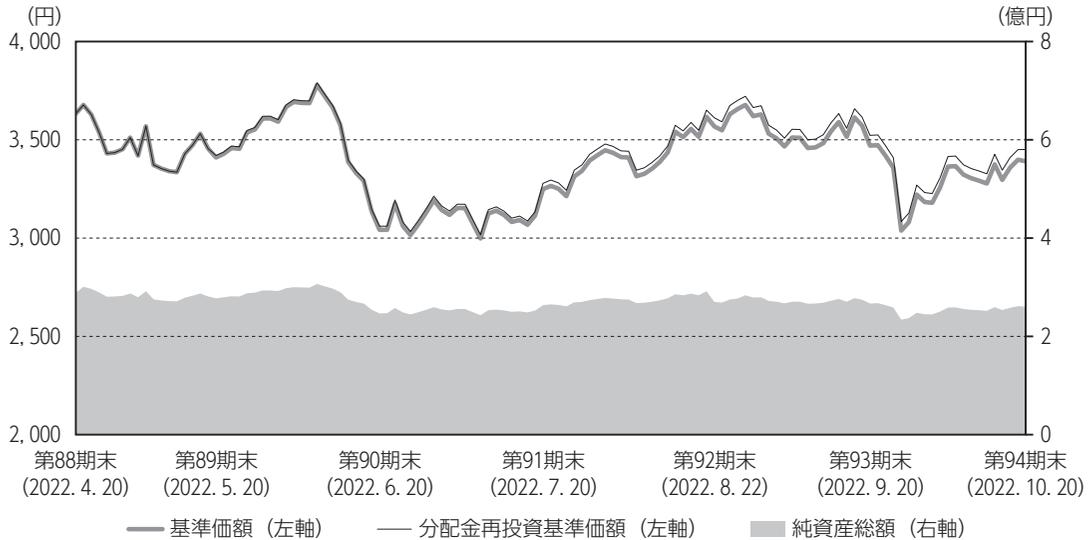
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第89期首：3,633円

第94期末：3,390円（既払分配金60円）

騰落率：△5.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

保有するMLP（※）等のパフォーマンスが低迷したことがマイナス要因となったほか、為替ヘッジコストの上昇も重しとなり、基準価額は下落しました。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第89期	(期首)2022年4月20日	3,633	—	8,086	—	—	97.9
	4月末	3,452	△ 5.0	7,653	△ 5.4	—	97.7
	(期末)2022年5月20日	3,420	△ 5.9	7,720	△ 4.5	—	98.6
第90期	(期首)2022年5月20日	3,410	—	7,720	—	—	98.6
	5月末	3,609	5.8	8,258	7.0	—	98.8
	(期末)2022年6月20日	3,052	△ 10.5	6,972	△ 9.7	—	97.7
第91期	(期首)2022年6月20日	3,042	—	6,972	—	—	97.7
	6月末	3,143	3.3	7,127	2.2	—	97.7
	(期末)2022年7月20日	3,259	7.1	7,509	7.7	—	98.2
第92期	(期首)2022年7月20日	3,249	—	7,509	—	—	98.2
	7月末	3,422	5.3	7,962	6.0	—	98.8
	(期末)2022年8月22日	3,578	10.1	8,338	11.0	—	98.1
第93期	(期首)2022年8月22日	3,568	—	8,338	—	—	98.1
	8月末	3,531	△ 1.0	8,323	△ 0.2	—	96.3
	(期末)2022年9月20日	3,480	△ 2.5	8,292	△ 0.6	—	96.8
第94期	(期首)2022年9月20日	3,470	—	8,292	—	—	96.8
	9月末	3,184	△ 8.2	7,634	△ 7.9	—	96.5
	(期末)2022年10月20日	3,400	△ 2.0	8,275	△ 0.2	—	97.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年6月末にかけて、インフレ率の予想以上の上昇を受けてFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、下落しました。7月以降は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで8月にかけて上昇しましたが、FRB高官の金融引き締めに関する積極的な発言を受け、9月末にかけてMLP市場は再び下落しました。その後、当作成期末にかけては一進一退の推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

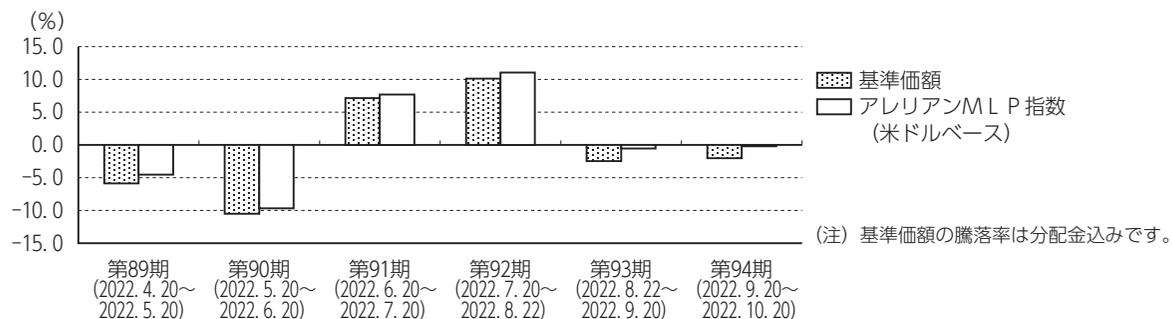
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2022年4月21日 ～2022年5月20日	2022年5月21日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月20日	2022年7月21日 ～2022年8月22日	2022年8月23日 ～2022年9月20日	2022年9月21日 ～2022年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.29	0.33	0.31	0.28	0.29	0.29
当期の収益 (円)	2	2	6	6	2	3
当期の収益以外 (円)	7	7	3	3	7	6
翌期繰越分配対象額 (円)	463	456	453	449	442	435

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.97円	✓ 2.85円	✓ 6.58円	✓ 6.69円	✓ 2.87円	✓ 3.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	440.07	440.11	440.14	440.16	440.34	✓ 440.35
(d) 分配準備積立金	✓ 30.54	✓ 23.48	✓ 16.30	✓ 12.87	✓ 9.38	✓ 2.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	473.59	466.45	463.03	459.73	452.61	445.64
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	463.59	456.45	453.03	449.73	442.61	435.64

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめぐりに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第89期～第94期 (2022. 4. 21～2022. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.645%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,392円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.649	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

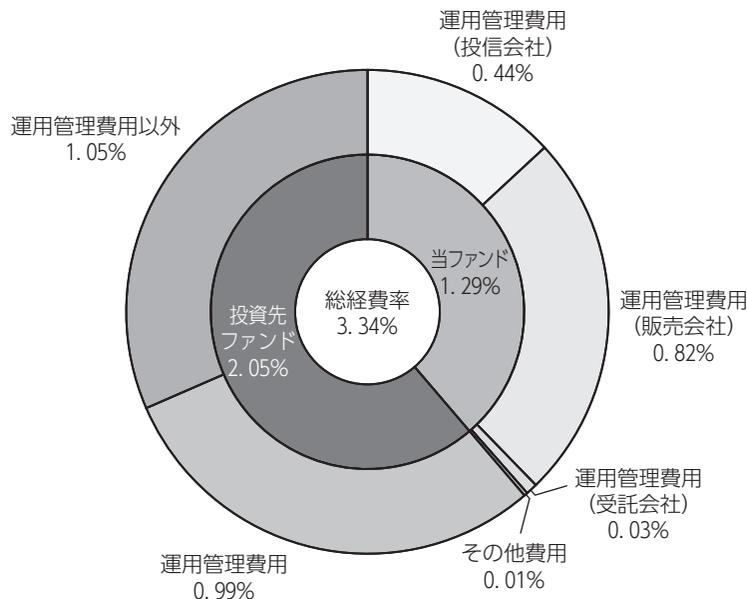
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.34%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.34%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.99%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

決算期	第 89 期 ~ 第 94 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	307.13852	11,191	673.32864	25,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

第 89 期 ~				第 94 期			
買 付			平均単価	売 付			平均単価
銘 柄	□ 数	金 額		銘 柄	□ 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	215.53466	8,000	37	AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	673.32864	25,000	37

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 94 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	7,238.85939	253,070	97.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第88期末			第 94 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	6	6	7			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月20日現在

項 目	第 94 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	253,070	96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	7	0.0
コール・ローン等、その他	8,693	3.3
投資信託財産総額	261,770	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月20日)、(2022年6月20日)、(2022年7月20日)、(2022年8月22日)、(2022年9月20日)、(2022年10月20日)現在

項目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
(A) 資産	278,523,360円	247,750,766円	264,611,265円	306,323,894円	267,983,639円	261,770,648円
コール・ローン等	5,022,433	6,893,650	5,854,554	7,435,244	9,710,130	8,693,046
投資信託受益証券（評価額）	273,493,848	240,850,037	258,749,632	264,881,572	258,266,431	253,070,524
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	7,079	7,079	7,079	7,079	7,078	7,078
未収入金	—	—	—	33,999,999	—	—
(B) 負債	1,116,553	1,128,724	1,089,466	36,352,475	1,067,885	1,052,069
未払金	—	—	—	17,000,000	—	—
未払収益分配金	813,553	810,784	811,093	756,587	769,149	769,190
未払解約金	—	—	6,098	18,267,259	8,916	990
未払信託報酬	301,094	314,042	266,687	321,012	280,422	270,778
その他未払費用	1,906	3,898	5,588	7,617	9,398	11,111
(C) 純資産総額（A－B）	277,406,807	246,622,042	263,521,799	269,971,419	266,915,754	260,718,579
元本	813,553,437	810,784,745	811,093,869	756,587,229	769,149,734	769,190,454
次期繰越損益金	△ 536,146,630	△ 564,162,703	△ 547,572,070	△ 486,615,810	△ 502,233,980	△ 508,471,875
(D) 受益権総口数	813,553,437口	810,784,745口	811,093,869口	756,587,229口	769,149,734口	769,190,454口
1万口当り基準価額（C/D）	3,410円	3,042円	3,249円	3,568円	3,470円	3,390円

* 当作成期首における元本額は794,934,609円、当作成期間（第89期～第94期）中における追加設定元本額は43,775,115円、同解約元本額は69,519,270円です。

* 第94期末の計算口数当りの純資産額は3,390円です。

* 第94期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は508,471,875円です。

■損益の状況

第89期 自 2022年4月21日 至 2022年5月20日

第91期 自 2022年6月21日 至 2022年7月20日

第93期 自 2022年8月23日 至 2022年9月20日

第90期 自 2022年5月21日 至 2022年6月20日

第92期 自 2022年7月21日 至 2022年8月22日

第94期 自 2022年9月21日 至 2022年10月20日

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(A) 配当等収益	545,267円	547,727円	541,991円	513,058円	503,714円	505,331円
受取配当金	545,319	547,836	542,082	513,074	504,020	505,694
支払利息	△ 52	△ 109	△ 91	△ 16	△ 306	△ 363
(B) 有価証券売買損益	△ 17,599,220	△ 29,265,789	17,341,132	24,727,259	△ 7,108,292	△ 5,671,534
売買益	110,832	298,765	17,357,504	26,478,814	14,320	29,962
売買損	△ 17,710,052	△ 29,564,554	△ 16,372	△ 1,751,555	△ 7,122,612	△ 5,701,496
(C) 信託報酬等	△ 303,000	△ 316,034	△ 268,377	△ 323,041	△ 282,203	△ 272,491
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 17,356,953	△ 29,034,096	17,614,746	24,917,276	△ 6,886,781	△ 5,438,694
(E) 前期繰越損益金	△ 249,252,605	△ 266,067,097	△ 295,513,669	△ 259,556,356	△ 234,821,979	△ 242,094,519
(F) 追加信託差損益金	△ 268,723,519	△ 268,250,726	△ 268,862,054	△ 251,220,143	△ 259,756,971	△ 260,169,472
（配当等相当額）	（ 35,802,486）	（ 35,683,851）	（ 35,699,751）	（ 33,302,570）	（ 33,869,316）	（ 33,871,395）
（売買損益相当額）	（△ 304,526,005）	（△ 303,934,577）	（△ 304,561,805）	（△ 284,522,713）	（△ 293,626,287）	（△ 294,040,867）
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 535,333,077	△ 563,351,919	△ 546,760,977	△ 485,859,223	△ 501,464,831	△ 507,702,685
(H) 収益分配金	△ 813,553	△ 810,784	△ 811,093	△ 756,587	△ 769,149	△ 769,190
次期繰越損益金（G＋H）	△ 536,146,630	△ 564,162,703	△ 547,572,070	△ 486,615,810	△ 502,233,980	△ 508,471,875
追加信託差損益金	△ 268,723,519	△ 268,250,726	△ 268,862,054	△ 251,220,143	△ 259,756,971	△ 260,531,827
（配当等相当額）	（ 35,802,486）	（ 35,683,851）	（ 35,699,751）	（ 33,302,570）	（ 33,869,316）	（ 33,509,040）
（売買損益相当額）	（△ 304,526,005）	（△ 303,934,577）	（△ 304,561,805）	（△ 284,522,713）	（△ 293,626,287）	（△ 294,040,867）
分配準備積立金	1,913,431	1,324,639	1,045,622	723,676	174,271	—
繰越損益金	△ 269,336,542	△ 297,236,616	△ 279,755,638	△ 236,119,343	△ 242,651,280	△ 247,940,048

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	242,267円	231,693円	533,859円	506,500円	221,511円	232,840円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	35,802,486	35,683,851	35,699,751	33,302,570	33,869,316	33,871,395
(d) 分配準備積立金	2,484,717	1,903,730	1,322,856	973,763	721,909	173,995
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	38,529,470	37,819,274	37,556,466	34,782,833	34,812,736	34,278,230
(f) 分配金	813,553	810,784	811,093	756,587	769,149	769,190
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	37,715,917	37,008,490	36,745,373	34,026,246	34,043,587	33,509,040
(h) 受益権総口数	813,553,437口	810,784,745口	811,093,869口	756,587,229口	769,149,734口	769,190,454口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率			
	円	円	%	%	%	百万円
65期末(2020年5月20日)	1,803	30	17.4	—	98.0	842
66期末(2020年6月22日)	1,792	30	1.1	—	96.8	835
67期末(2020年7月20日)	1,637	30	△ 7.0	—	97.9	751
68期末(2020年8月20日)	1,640	30	2.0	—	97.9	652
69期末(2020年9月23日)	1,463	30	△ 9.0	—	98.1	573
70期末(2020年10月20日)	1,437	20	△ 0.4	—	98.0	548
71期末(2020年11月20日)	1,586	20	11.8	—	98.0	599
72期末(2020年12月21日)	1,623	20	3.6	—	97.9	590
73期末(2021年1月20日)	1,719	20	7.1	—	98.2	615
74期末(2021年2月22日)	1,685	20	△ 0.8	—	98.5	589
75期末(2021年3月22日)	1,805	20	8.3	—	97.9	613
76期末(2021年4月20日)	1,848	20	3.5	—	98.1	624
77期末(2021年5月20日)	2,006	20	9.6	—	98.2	660
78期末(2021年6月21日)	2,080	20	4.7	—	98.0	680
79期末(2021年7月20日)	1,894	20	△ 8.0	—	97.8	613
80期末(2021年8月20日)	1,872	20	△ 0.1	—	98.0	600
81期末(2021年9月21日)	1,935	20	4.4	—	98.0	589
82期末(2021年10月20日)	2,201	20	14.8	—	98.3	663
83期末(2021年11月22日)	2,043	10	△ 6.7	—	98.7	599
84期末(2021年12月20日)	1,935	10	△ 4.8	—	97.9	553
85期末(2022年1月20日)	2,139	10	11.1	—	98.9	596
86期末(2022年2月21日)	2,192	10	2.9	—	98.6	607
87期末(2022年3月22日)	2,314	10	6.0	—	98.8	635
88期末(2022年4月20日)	2,648	10	14.9	—	98.8	732
89期末(2022年5月20日)	2,452	10	△ 7.0	—	98.7	671
90期末(2022年6月20日)	2,284	10	△ 6.4	—	97.6	606
91期末(2022年7月20日)	2,478	10	8.9	—	98.3	657
92期末(2022年8月22日)	2,724	10	10.3	—	98.2	698
93期末(2022年9月20日)	2,716	10	0.1	—	98.3	691
94期末(2022年10月20日)	2,744	10	1.4	—	98.9	687

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

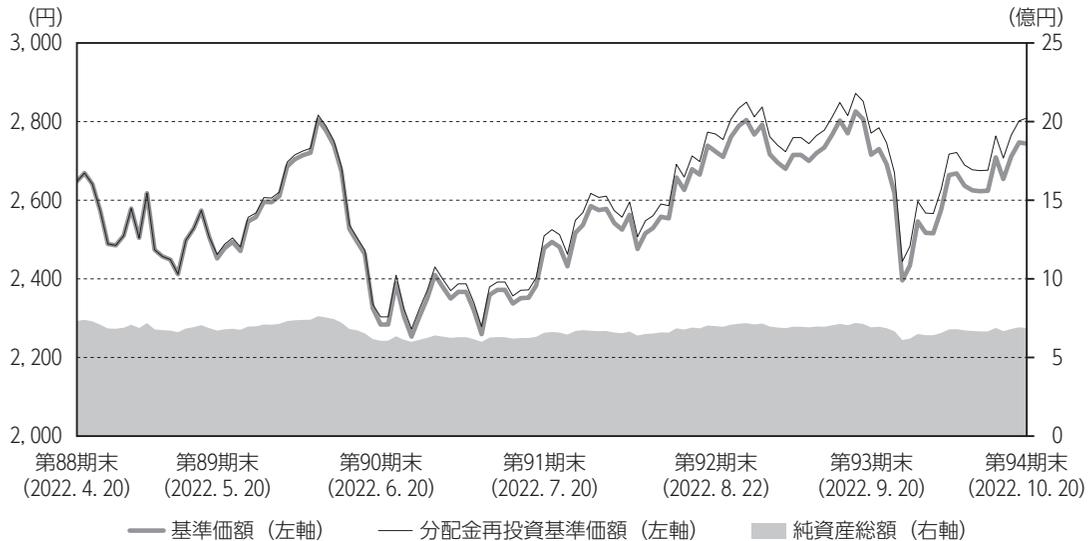
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第89期首：2,648円

第94期末：2,744円（既払分配金60円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

保有するMLP（※）等のパフォーマンスが低迷したことはマイナス要因になりましたが、米ドルが対円で上昇（円安）したことはプラス要因となりました。オプション部分については、プレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）は基準価額のプラス要因となりましたが、円に対する米ドルのコール・オプションを売却している中で米ドル円が上昇したことが、基準価額の上昇を抑制しました。こうした市場の動きを背景に、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第89期	(期首)2022年4月20日	2,648	—	—	98.8
	4月末	2,510	△ 5.2	—	97.9
	(期末)2022年5月20日	2,462	△ 7.0	—	98.7
第90期	(期首)2022年5月20日	2,452	—	—	98.7
	5月末	2,595	5.8	—	97.9
	(期末)2022年6月20日	2,294	△ 6.4	—	97.6
第91期	(期首)2022年6月20日	2,284	—	—	97.6
	6月末	2,379	4.2	—	97.5
	(期末)2022年7月20日	2,488	8.9	—	98.3
第92期	(期首)2022年7月20日	2,478	—	—	98.3
	7月末	2,575	3.9	—	98.2
	(期末)2022年8月22日	2,734	10.3	—	98.2
第93期	(期首)2022年8月22日	2,724	—	—	98.2
	8月末	2,717	△ 0.3	—	98.4
	(期末)2022年9月20日	2,726	0.1	—	98.3
第94期	(期首)2022年9月20日	2,716	—	—	98.3
	9月末	2,517	△ 7.3	—	98.1
	(期末)2022年10月20日	2,754	1.4	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年6月末にかけて、インフレ率の予想以上の上昇を受けてFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、下落しました。7月以降は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで8月にかけて上昇しましたが、FRB高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、9月末にかけてMLP市場は再び下落しました。その後、当作成期末にかけては一進一退の推移となりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2022年6月には米国で大幅な利上げが行われたことなどから、上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となりました。8月は、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまり、円安米ドル高基調のまま当作成期末を迎えました。

■通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは、上昇しました。

円安が進んだことなどから、為替相場の先行き不透明感が高まり、ボラティリティは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：C B R Eクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 4. 21 ~ 2022. 10. 20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2022年4月21日 ～2022年5月20日	2022年5月21日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月20日	2022年7月21日 ～2022年8月22日	2022年8月23日 ～2022年9月20日	2022年9月21日 ～2022年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.41	0.44	0.40	0.37	0.37	0.36
当期の収益 (円)	3	3	6	6	3	5
当期の収益以外 (円)	6	6	3	3	6	4
翌期繰越分配対象額 (円)	514	507	503	499	492	488

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 3.49円	✓ 3.32円	✓ 6.08円	✓ 6.12円	✓ 3.31円	✓ 5.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	487.57	487.63	487.67	487.69	487.71	487.72
(d) 分配準備積立金	✓ 33.01	✓ 26.45	✓ 19.73	✓ 15.80	✓ 11.91	✓ 5.22
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	524.08	517.40	513.49	509.62	502.94	498.68
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	514.08	507.40	503.49	499.62	492.94	488.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめどに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第89期～第94期 (2022. 4. 21～2022. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0.645%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,566円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.659	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

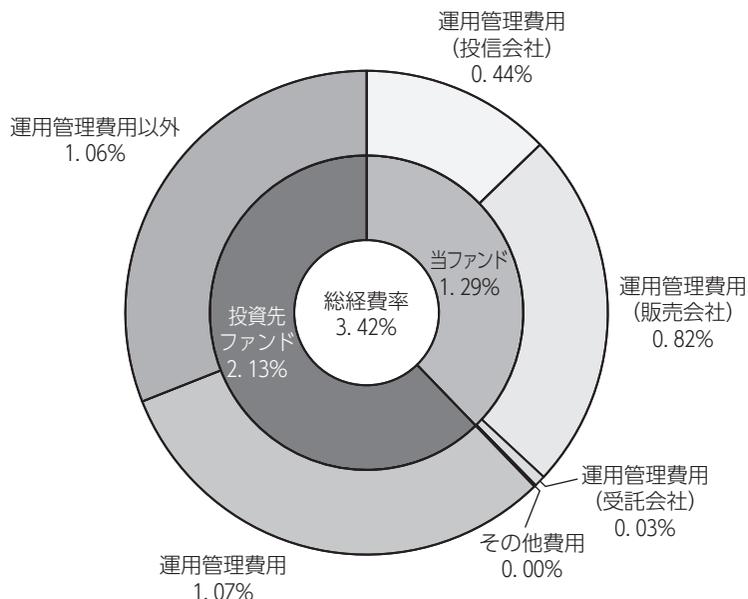
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含まず。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.42%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.42%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.07%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

決算期	第 89 期 ～ 第 94 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 341.24474	千円 9,774	千口 2,988.70239	千円 86,913

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年4月21日から2022年10月20日まで)

第 89 期 ～ 第 94 期							
買 付		売 付					
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,988.70239	千円 86,913	円 29

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 94 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	千口 22,079.0139	千円 679,724	% 98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第88期末	第 94 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月20日現在

項 目	第 94 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 679,724	% 98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	13,701	2.0
投資信託財産総額	693,435	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月20日)、(2022年6月20日)、(2022年7月20日)、(2022年8月22日)、(2022年9月20日)、(2022年10月20日)現在

項目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
(A) 資産	675,497,922円	632,655,815円	660,358,189円	705,531,368円	694,738,379円	693,435,528円
コール・ローン等	12,962,635	15,217,169	14,166,415	19,243,760	15,011,870	13,701,372
投資信託受益証券（評価額）	662,525,651	591,455,011	646,182,138	686,277,972	679,716,874	679,724,521
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,636	9,636	9,636	9,636	9,635	9,635
未収入金	—	25,973,999	—	—	—	—
(B) 負債	4,359,071	26,387,900	3,324,735	6,837,793	3,439,043	5,901,503
未払金	—	12,987,000	—	—	—	—
未払収益分配金	2,736,566	2,654,088	2,651,469	2,565,196	2,544,828	2,505,731
未払解約金	878,194	9,968,000	—	3,476,340	148,110	2,657,884
未払信託報酬	739,603	769,209	659,468	777,517	722,762	710,029
その他未払費用	4,708	9,603	13,798	18,740	23,343	27,859
(C) 純資産総額（A－B）	671,138,851	606,267,915	657,033,454	698,693,575	691,299,336	687,534,025
元本	2,736,566,663	2,654,088,883	2,651,469,056	2,565,196,831	2,544,828,759	2,505,731,316
次期繰越損益金	△ 2,065,427,812	△ 2,047,820,968	△ 1,994,435,602	△ 1,866,503,256	△ 1,853,529,423	△ 1,818,197,291
(D) 受益権総口数	2,736,566,663口	2,654,088,883口	2,651,469,056口	2,565,196,831口	2,544,828,759口	2,505,731,316口
1万口当り基準価額（C/D）	2,452円	2,284円	2,478円	2,724円	2,716円	2,744円

* 当作成期首における元本額は2,765,914,215円、当作成期間（第89期～第94期）中における追加設定元本額は26,356,729円、同解約元本額は286,539,628円です。

* 第94期末の計算口数当りの純資産額は2,744円です。

* 第94期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,818,197,291円です。

■損益の状況

第89期 自 2022年4月21日 至 2022年5月20日 第91期 自 2022年6月21日 至 2022年7月20日 第93期 自 2022年8月23日 至 2022年9月20日
 第90期 自 2022年5月21日 至 2022年6月20日 第92期 自 2022年7月21日 至 2022年8月22日 第94期 自 2022年9月21日 至 2022年10月20日

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(A) 配当等収益	1,700,106円	1,655,501円	1,634,199円	1,591,112円	1,571,441円	1,547,948円
受取配当金	1,700,238	1,655,793	1,634,459	1,591,195	1,571,838	1,548,475
受取利息	—	—	1	—	—	—
支払利息	△ 132	△ 292	△ 261	△ 83	△ 397	△ 527
(B) 有価証券売買損益	△ 51,661,534	△ 42,907,267	53,041,601	64,792,828	△ 146,919	8,532,382
売買益	219,420	1,640,904	53,090,168	65,471,092	21,260	8,600,486
売買損	△ 51,880,954	△ 44,548,171	△ 48,567	△ 678,264	△ 168,179	△ 68,104
(C) 信託報酬等	△ 744,311	△ 774,104	△ 663,663	△ 782,459	△ 727,365	△ 714,545
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 50,705,739	△ 42,025,870	54,012,137	65,601,481	697,157	9,365,785
(E) 前期繰越損益金	△ 1,244,968,136	△ 1,256,647,151	△ 1,297,616,951	△ 1,203,863,440	△ 1,130,158,967	△ 1,112,973,336
(F) 追加信託差損益金	△ 767,017,371	△ 746,493,859	△ 748,179,319	△ 725,676,101	△ 721,522,785	△ 712,084,009
（配当等相当額）	（ 133,428,435）	（ 129,422,487）	（ 129,304,565）	（ 125,103,564）	（ 124,114,639）	（ 122,209,815）
（売買損益相当額）	（△ 900,445,806）	（△ 875,916,346）	（△ 877,483,884）	（△ 850,779,665）	（△ 845,637,424）	（△ 834,293,824）
(G) 合計（D+E+F）	△ 2,062,691,246	△ 2,045,166,880	△ 1,991,784,133	△ 1,863,938,060	△ 1,850,984,595	△ 1,815,691,560
(H) 収益分配金	2,736,566	2,654,088	2,651,469	2,565,196	2,544,828	2,505,731
次期繰越損益金（G+H）	△ 2,065,427,812	△ 2,047,820,968	△ 1,994,435,602	△ 1,866,503,256	△ 1,853,529,423	△ 1,818,197,291
追加信託差損益金	△ 767,017,371	△ 746,493,859	△ 748,179,319	△ 725,676,101	△ 721,522,785	△ 712,084,009
（配当等相当額）	（ 133,428,435）	（ 129,422,487）	（ 129,304,565）	（ 125,103,564）	（ 124,114,639）	（ 122,209,815）
（売買損益相当額）	（△ 900,445,806）	（△ 875,916,346）	（△ 877,483,884）	（△ 850,779,665）	（△ 845,637,424）	（△ 834,293,824）
分配準備積立金	7,254,337	5,248,312	4,196,235	3,060,632	1,331,257	241,336
繰越損益金	△ 1,305,664,778	△ 1,306,575,421	△ 1,250,452,518	△ 1,143,887,787	△ 1,133,337,895	△ 1,106,354,618

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	955,795円	881,397円	1,614,355円	1,572,333円	844,076円	1,438,194円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	133,428,435	129,422,487	129,304,565	125,103,564	124,114,639	122,209,815
(d) 分配準備積立金	9,035,108	7,021,003	5,233,349	4,053,495	3,032,009	1,308,873
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	143,419,338	137,324,887	136,152,269	130,729,392	127,990,724	124,956,882
(f) 分配金	2,736,566	2,654,088	2,651,469	2,565,196	2,544,828	2,505,731
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	140,682,772	134,670,799	133,500,800	128,164,196	125,445,896	122,451,151
(h) 受益権総口数	2,736,566,663口	2,654,088,883口	2,651,469,056口	2,565,196,831口	2,544,828,759口	2,505,731,316口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

アメリカンMLPファンド
（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2022年3月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$12,045,214）	\$ 19,667,092
現金および現金同等物	382,335
外国為替先渡取引による評価益	207,948
スポット取引による評価益	2,500
売却した投資に係る未収金	253,420
未収配当金	4,700
未収法人税等	1,083,582
資産合計	21,601,577
負債	
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$39,293）	16,019
外国為替先渡取引による評価損	246,836
スポット取引による評価損	5
未払：	
購入済みの投資	193,630
償還済み受益証券	148,301
専門家報酬	122,603
運用会社報酬	14,181
会計および管理会社報酬	9,997
受託会社報酬	3,810
保管会社報酬	2,998
名義書換代理人報酬	1,200
為替運用会社報酬	490
計算代理人報酬	26
未払当期所得税	132,523
繰延税金負債	654,836
負債合計	1,547,455
純資産	\$ 20,054,122
純資産の内訳：	
払込資本金	\$ 260,929,029
（受益者への分配金）	(109,923,964)
繰越損失	(130,950,943)
純資産	\$ 20,054,122
クラス別純資産：	
通貨αクラス	\$ 5,455,378

円ヘッジクラス		2,221,007
ノンヘッジクラス		12,377,737
		\$ 20,054,122
発行済み受益証券口数		
通貨αクラス		24,663,122
円ヘッジクラス		7,590,117
ノンヘッジクラス		31,867,632
受益証券1口当り純資産額		
通貨αクラス	\$	0.221
円ヘッジクラス	\$	0.293
ノンヘッジクラス	\$	0.388

損益計算書

2022年3月31日で終了した年度

投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$53,684控除後）	\$	140,393
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		847,968 (847,968)
受取利息		29,643
投資収益合計		170,036

費用

専門家報酬		210,601
運用会社報酬		98,943
会計および管理会社報酬		59,999
保管会社報酬		17,835
受託会社報酬		15,450
為替運用会社報酬		5,536
名義書換代理人報酬		5,271
州法人税		1,197
計算代理人報酬		755
費用合計		415,587

税引前投資損失		(245,551)
当期所得税および法人税等調整額		(141,748)
税引後投資純損失		(387,299)

実現利益（損）および評価益（損）：

実現利益（損）：		
証券投資		139,007
外国為替取引および外国為替先渡取引		(274,288)
売建オプション		(191,221)
実現損失		(326,502)
評価益（損）の純変動の内訳：		
証券投資		6,660,793
外国為替換算および外国為替先渡取引		59,126
売建オプション		49,749
評価益（損）の純変動		6,769,668
実現損および評価益（損）の純変動		6,443,166
運用による純資産の純増	\$	6,055,867

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

投資明細表
2022/3/31現在

株数 / 出資口数	証券の明細	評価額
	普通株 (44.8%)	
	カナダ (6.3%)	
	エネルギー中流事業 (6.3%)	
10,932	Enbridge, Inc.	\$ 503,855
10,640	Pembina Pipeline Corp.	400,064
6,230	TC Energy Corp.	351,497
		<hr/>
	カナダ合計 (簿価 \$935,644)	1,255,416
	米国 (38.5%)	
	エネルギー中流事業 (11.7%)	
47,200	Kinder Morgan, Inc.	892,552
20,650	ONEOK, Inc.	1,458,510
		<hr/>
		2,351,062
	集積・処理 (10.6%)	
12,239	Hess Midstream LP	367,170
23,400	Targa Resources Corp.	1,765,998
		<hr/>
		2,133,168
	天然ガス パイプライン・貯蔵 (16.2%)	
12,366	Cheniere Energy, Inc.	1,714,546
46,040	Williams Cos., Inc.	1,538,196
		<hr/>
		3,252,742
	米国合計 (簿価 \$3,647,135)	\$ 7,736,972
	普通株合計 (簿価 \$4,582,779) (44.8%)	\$ 8,992,388
	マスター・リミテッド・パートナーシップ (53.3%)	
	米国 (53.3%)	
	集積・処理 (17.1%)	
20,800	Crestwood Equity Partners LP	622,336
27,000	DCP Midstream LP	906,120
57,370	MPLX LP	1,903,537
		<hr/>
		3,431,993
	原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (17.1%)	
29,288	Magellan Midstream Partners LP	1,437,162
47,200	NuStar Energy LP	680,624
122,687	Plains All American Pipeline LP	1,320,112
		<hr/>
		3,437,898
	パイプライン, 貯蔵・処理 (19.1%)	
169,477	Energy Transfer LP	1,896,448
73,939	Enterprise Products Partners LP	1,908,365
		<hr/>
		3,804,813
	米国合計 (簿価 \$7,462,435)	\$ 10,674,704
	マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$7,462,435) (53.3%)	\$ 10,674,704
	投資総額 (簿価 \$12,045,214) (98.1%)	\$ 19,667,092
	負債を超過する現金およびその他の資産 (1.9%)	\$ 387,030
	純資産 (100.0%)	\$ 20,054,122

2022年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高 (純資産の-0.2%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	284,583,840	2022/4/1	U S D	2,384,199	\$ -	\$ (39,533)	\$ (39,533)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	272,921,959	2022/4/11	U S D	2,369,423	-	(120,588)	(120,588)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	305,848	2022/4/11	U S D	2,654	-	(134)	(134)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	9,848,485	2022/4/11	U S D	85,488	-	(4,338)	(4,338)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	268,975,511	2022/4/11	U S D	2,257,778	-	(41,461)	(41,461)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	8,479,142	2022/4/11	U S D	70,151	-	(284)	(284)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	13,129,187	2022/4/11	U S D	106,020	2,163	-	2,163
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	284,583,840	2022/4/11	U S D	2,304,169	40,758	-	40,758
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	9,000,000	2022/4/11	U S D	73,774	384	-	384
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,304,169	2022/4/1	J P Y	284,583,840	-	(40,497)	(40,497)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	119,691	2022/4/11	J P Y	14,100,782	3,503	-	3,503
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,337,874	2022/4/11	J P Y	268,975,511	121,557	-	121,557
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	49,741	2022/4/11	J P Y	6,000,000	302	-	302
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,384,207	2022/4/11	J P Y	284,583,840	39,281	-	39,281
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	148,317	2022/4/11	J P Y	18,000,000	-	(1)	(1)
						\$ 207,948	\$ (246,836)	\$ (38,888)

2022年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引残高 (純資産の-0.1%)

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	契約数	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	HSBC	¥ 123.53	2022/5/12	2,800,000	\$ (39,293)	\$ (16,019)

通貨の略称:

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第94期の決算日（2022年10月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年4月21日～2022年10月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年10月20日現在有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期 (決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

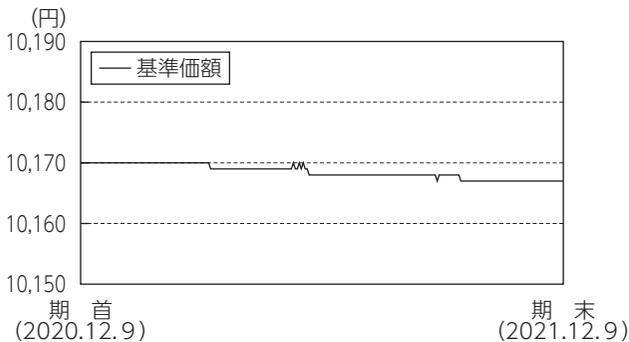
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率	
	円	騰落率	組入	率
(期首)2020年12月9日	10,170	-	-	-
12月末	10,170	0.0	-	-
2021年1月末	10,170	0.0	-	-
2月末	10,170	0.0	-	-
3月末	10,169	△0.0	-	-
4月末	10,169	△0.0	-	-
5月末	10,169	△0.0	-	-
6月末	10,168	△0.0	-	-
7月末	10,168	△0.0	-	-
8月末	10,168	△0.0	-	-
9月末	10,167	△0.0	-	-
10月末	10,167	△0.0	-	-
11月末	10,167	△0.0	-	-
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	110,997,998	111,997,992 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 6,782,301	% 100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,782,301,285円
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	6,782,301,285
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C / D)	10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOF5用) (適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/RIC SM コモディティ・ファンド	2,074,249円
U.S.債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	1,676円
U.S.債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
D/Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ミドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株ファンド - パラダイムシフト	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A + B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C + D + E + F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。